

令和3年度 福生市教育方針

令和3年第1回市議会定例会(3月22日本会議)において、川越教育長が、福生市教育方針を述べました。要旨は次のとおりです。

教育方針を述べるにあたり、まず令和2年度状況を振り返ってみたいと思います。令和2年度は、福生市教育大綱及び福生市教育振興基本計画第2次のもと、新規施策も含めて、より質の高い教育の推進を軌道に乗せ、持続、安定的に取り組むこと、新型コロナウイルス感染症の対応に追われた一年でございました。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う、国の緊急事態宣言の発令や、市内の小・中学校では全国一斉臨時休業の実施など、これまで、当たり前を過ぎていた日常が一変いたしました。

そのような中においても、福生市独自の児童・生徒の学習状況調査をスタートさせたことをはじめ、GIGAスクール構想によるICT教育への着手や、特別支援教育の確実な推進、そして、不登校特例校分教室の開設、幼保小の円滑な接続に関する研究、コロナ禍を配慮しての池上彰氏の特別講演会の開催など、様々な事業を実施してまいりました。

令和3年度の教育委員会の主要な事業は、令和2年度と同様、教育振興基本計

画実施計画に沿って着実に進めてまいります。次に社会教育関連でございます。

まず、学校教育に關しましては、コロナ禍においても「学びを止めない」、「逆境の中だからこそ、子ども達一人ひとりを大切に」をモットーにきめ細やかな教育の推進に努めてまいります。また、このよ

うな状況下だったからこそ、より重要度が明確になったこともたくさんございます。例えば、個別最適化される教育と集団の中で培う教育についてです。そして学習指導要領に新たに明記された「学びに向かう力の育成」をはじめ、先ほど申し上げました実施計画こそが教育効果をより高めるものと確信をいたしました。引き続きその

実行性を高めるべく、各学校と一体となつて質の高い教育の諸施策に取り組んでまいります。その中で特に、GIGAスクール構想に關しましては、令和3年1月に市内小・中

学校の児童・生徒各一人に1台ずつ端末を配布し、GIGAスクール構想によるICT教育をスタートさせました。令和3年度は学校のICT環境の改善を図るために、各校の校務システム

のセンターサーバ化を行い、ネットワークをつないでまいります。このことで、学校間や教育委員会とのデータのやり取りの円滑化などが期待でき、二要素認証によるセキュリティの向上を図ることが可能となります。

生涯学習推進課では、成果も確認できていることから令和3年度も中学校3年生を対象に、進学目的の学習支援事業である「スタディ・アシスト事業」を実施いたします。

スポーツ関連につきましては、生涯スポーツ社会の実現に向け、行政、市民、スポーツ関係団体等が連携してスポーツ推進に關わる施策を総合的、計画的に実行することを目的にしたスポーツ推進計画を改定いたします。

このほかに、中央図書館をはじめとする教育関連施設はどの施設も建設から数十年が経過し、老朽化対策やバリアフリー化が課題となつております。中央図書館に關しましては、令和3年度に改修に向けた実施設計を行います。

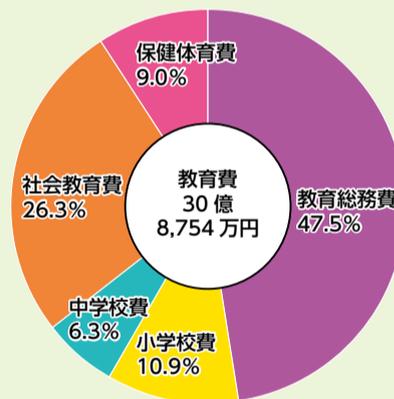
最後に社会教育全般に關するところでありますが、新型コロナウイルス感染症の影響で様々な事業を取りやめる、延期するなどの措置を講じております。今後の感染状況は先が見えない状況ではございますが、「教育は人づくり」の言葉を常に念頭に置き、様々な立場、状況にある市民の方々が学び続けることができるように、感染防止対策や様々な工夫を講じながら、各種講座や事業など、学ぶ機会を提供できるように努めてまいりたいと存じます。

令和3年度実施計画から 主な取組を紹介しす

- 東京都人権施策推進方針及び都教育委員会の教育目標、基本方針に基づき、人権尊重の理念を広く社会に定着させ、あらゆる偏見や差別の解消を目指すとともに、人権教育の一層の充実を図ります。
- 中央図書館は、空調設備等が老朽化しており、バリアフリー化についても未対応であるため、空調設備等の更新、バリアフリーの整備、長寿命化を図る改修工事を行います。令和3年度は、実施設計を行います。
- 校務システムの更改を行うとともに、各学校間をつなぐネットワークを構築します。このことにより、学校間の情報共有の効率化等を図り、校務の効率化、授業の質の向上を図ります。
- 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催機運を盛り上げるために、オリンピックを招き、トークイベントを実施します。
- 市民のスポーツ習慣の定着促進及び健康増進並びにパラスポーツの理解促進及び普及啓発を図るため、スポーツクラブの指導者等を招き、パラスポーツの体験会を行います。

令和3年度教育費予算の内訳

令和3年度福生市一般会計予算248億1千万円が3月の市議会定例会で認定され、そのうち教育費は12.4%の30億8,754万円の予算額となりました。



- 教育総務費 14億6,526万4千円**
教育委員会とその事務局、小中学校の教育指導に要する経費
- 小学校費 3億3,596万7千円**
学校の運営、学校施設の整備に要する経費
- 中学校費 1億9,429万7千円**
学校の運営、学校施設の整備に要する経費
- 社会教育費 8億1,345万円**
公民館、市民会館、図書館、プチギャラリー、茶室の運営や、青少年の健全育成、文化財保護などに要する経費
- 保健体育費 2億7,856万2千円**
体育館及び屋外体育施設の管理、スポーツの推進事業に要する経費

組織改正を行いました

「施設公園課建築営繕グループ」が、学校施設を含めた施設等の一元管理、計画的な維持管理等を推進していくことに伴い、「教育総務課学校施設係」を廃止しました。なお、「施設」の目的外使用等に關すること等、施設の管理・運営に關することは「教育総務課教育総務係」が引き継ぎます。

また、ICT環境整備の前倒しにより初期整備体制が図られ、設置した当初の目標を達成したこと、から、「教育部主幹(特命担当)」を廃止しました。なお、所管していた業務は「教育部主幹(教育施策担当)」が引き継ぎます。

課	改正前	改正後
教育総務課	学校施設係	廃止
教育指導課	教育部主幹(特命担当)	

問合せ 教育総務課教育総務係 ☎551・1930

寄附をいただきました

◆青梅信用金庫から現金20万円とセント1張りが寄附されました。この寄附は「あおしん地域文化振興基金」により、青梅信用金庫営業区域内の本支店所在地の市町村の小・中学校を対象に文化・体育・スポーツの振興のための助成を行い、地域社会の発展に寄与することを目的とされています。今回寄附されたセント1張りは福生第三中学校に配置します。



▲公益社団法人青梅法人会からの寄附贈呈式



▲青梅信用金庫からの寄附贈呈式

問合せ 教育支援課学務・給食係 ☎551・1948